

令和元年度地域少子化対策重点推進事業(令和元年度補正予算)実施計画書(都道府県分)

都道府県名 鳥取県

都道府県名	鳥取県	自治体コード: 310000
事業名	鳥取県地域全体での子育て応援推進事業(令和2年度地域少子化対策重点推進事業(国令和元年度補正予算分))	所要見込額 ※(注)1 1016 千円
実施期間	交付決定日 ~ 令和3年3月31日	
地域の实情と課題(これまでの都道府県における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮かび上がった地域の实情と課題について記述) ※(注)2	<p>当県は、平成22年に「子育て王国とっとり」の建国を宣言。最も子育てしやすく住みやすい県「子育て王国とっとり」の実現に向け、「子育て王国とっとり条例(平成26年3月25日施行)」を制定し、県民、事業主、保護者、行政等の様々な立場の者が連携協力して子育て支援等に取り組んでいるところである。</p> <p>さらに、平成27年10月に策定した地方創生のための「鳥取県元気づくり総合戦略」(平成27年度～平成31年度)(以下「総合戦略」という。)では、政策分野の一つに「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む～鳥取+住む～」を掲げ、「①若者の出会い、結婚の希望を叶える②安心の出産・子育てを応援する③地域で子育て世代を支える」ため、1対1の出会いの支援を含め、切れ目なく支援するための取組を強化してきた。第2期(令和2年度～令和6年度)総合戦略を令和2年3月に策定する予定であるが、少子化の進行は未だとまっていないため、全国の先を行く子育て支援に向け取組を強化する。</p> <p>当県の少子化の現状については、合計特殊出生率は平成20年の1.43(全国17位)から、近年は1.6台にまで回復している(平成30年1.61(全国順位10位))。ただし、出生数は減少傾向が続いており、H30年度の出生者数は4,013人となった。</p> <p>当県では育児をしている女性の有業者率が全国平均よりも高いこと(平成29年度 鳥取県77.2% 全国64.2%)、中山間地域が多く近隣に同年齢の子どもをもつ母親がいないといったケースも少なくないことから、県民の結婚・出産の希望が叶う水準(希望出生率1.95)までに引き上げるには、男性の育児参加促進、地域全体で子育て世代を支える仕組みづくり・機運醸成を重点的にを行い、子育ての孤立・負担感解消を図る必要がある。そこで、保護者が地域の支援者や祖父母とともに子育てに関する世代間の意識や知識のずれや子育てのポイントなどを学ぶことのできる機会を提供を強化する。</p>	
都道府県における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け ※(注)3	<p>本県「総合戦略」では、3本の基本目標を定め、その一つである「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む～鳥取+住む～」において、「出会い・子育て」分野では、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.若者の出会い、結婚の希望を叶える 2.安心の出産・子育てを応援する 3.地域で子育て世代を支える <p>ための取組を重点施策として掲げており、本施策のうち、温かい社会づくり・機運の醸成に係るものについては、上記重点施策の2及び3に位置づけられている。</p>	
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標※(注)4	<p>当県「総合戦略」における網羅的な数値目標は、別添のとおりとなっている。</p> <p>【結婚支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1対1の出会いの場「えんトリー(とっとり出会いサポートセンター)」による成婚数:80組(平成27～平成31年) <p>【温かい社会づくり・機運の醸成】</p> <p>本事業のうちに係るものについては、「総合戦略」の基本目標の一つである「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む～鳥取+住む～」において、「出会い・子育て」分野の目標と同様に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率:1.74(平成31年) <p>とする。</p>	
参考指標 ※(注)5	<p>※婚姻数、婚姻率、出生数、出生率等</p> <p>婚姻数:2,329件(平成30年)、婚姻率:4.2(平成30年)、出生数:4,013人(平成30年)、出生率:7.5(平成30年)、合計特殊出生率:1.61(平成30年)</p> <p>えんトリー(とっとり出会いサポートセンター)の会員数:1,057名(鳥取県会員で「えんトリー」会員とのお引合せを希望する者310人を含む)(令和元年の「えんトリー」新規会員196名)(令和元年12月31日現在)</p>	

事業内容	1. 自治体間連携を伴う取組に対する支援		所要見込額	0 千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	2. 子育てに寄り添う地域づくり支援		所要見込額	0 千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	3. 優良事例の横展開支援		所要見込額	1,016 千円
	個別事業名	お届けします！楽しい孫育て・子育て講座	所要見込額	1,016 千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	個別事業名		所要見込額	千円
	個別事業名		所要見込額	千円
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無※(注)6	無			

令和元年度地域少子化対策重点推進事業(令和元年度補正予算)実施計画書(都道府県分)個票

都道府県名 鳥取県 (都道府県: 鳥取県)

本事業の担当部局名 子育て・人財局子育て王国課

事業メニュー	優良事例の横展開支援
区分	結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組
関連事業メニュー	3-(6) その他、各地域において、結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成に向けた、当事者及びその他の社会のあらゆる構成員の意識や行動の改革をもたらそうとする取組
個別事業名	お届けします！楽しい孫育て・子育て講座
実施期間	交付決定日 ~ 令和3年3月31日
所要見込額 ※(注)1	1,016 千円 補助率: 1/2 (交付金所要額: 508 千円)
個別事業の内容	<p>※(注)2</p> <p>当県では、男性の育児参加を促進するため、近く父親になる男性に対して、具体的な子育てのノウハウや育児関連情報を盛り込んだ父子手帳を作成した(平成26年から平成27年度までの間で約10,000部:単県独自事業)。これまで「地域少子化対策強化交付金」を活用し、シニア世代が地域で子育て支援を行うことができるよう「孫育てマイスター」の養成を行ってきたところであり、平成26年度は107名が受講し、平成27年度も約100名が受講したところ。</p> <p>また、平成28年度と平成29年度には、更に地域全体で子育てを支えていく取組・機運を上げていくためには、地域で気軽に家族ぐるみで学びたい方や近くに孫がいなくても近くに住む子育て世代への支援を行いたい方が、子育て支援の方法や近くに住む子どもたちとの接し方・ふれあい方について学ぶことのできる場の設定やこれから祖父母になる方すべてに孫育てのポイントを届けることが有効であると考え、新たに作成した祖父母手帳を教材とした出前講座を実施した。さらに、平成29年度には上記出前講座に加え、地域の公民館活動等では行事が年度の早いうちから決まり地域で講座を受講することが難しいとの声から、各個人で気軽に受講出来る指定会場での講座を実施し、平成28年度と平成29年度はともに約160名の受講があった。</p> <p>「現状と課題」 平成30年度以降は委託先の意見を踏まえ、各個人で気軽に受講出来る指定会場での講座に特化し講座内容、特に実技(沐浴体験等)の充実を図っているが、受講者の満足度は高い一方で受講者数が伸び悩んでいる状況がある。</p> <p>「課題への対応」 そこで、これまでの孫育て世代に向けた周知に加え、子育て世代にも向けた周知を実施し、子育て世代からその親(孫育て世代)への情報の広がりを図ることで受講者獲得に努める。</p> <p>具体的には、現在、子育てパスポート事業の一環として主にパスポート利用者向けに県内のイベント情報などのメールマガジンを毎月発行しているため、来年度は本メールマガジンでも孫育て講座の案内を行っていく。これにより、従来は主に関連施設等への案内チラシの配布だったものが対象者へ直接的に情報を届けることが可能となる。</p> <p>また出前講座や市町村窓口で配布する祖父母手帳には、市町村の一時預かりの相談窓口や子育て支援施設の情報も記載している。しかし相談窓口の変更や施設の新設または閉鎖があるため、配布者へ正しい情報を提供するため、これらの情報を更新し、支援施設などのスムーズな利用に繋げる。</p> <p>なお、事業の実施にあたっては、特定の価値観や考え方の押しつけや子育て・孫育てに参加することを強要する内容とならないよう男女共同参画部局等の関連部局や有識者と連携を図り、本交付金事業を活用することで受講者数を増やし、地域での子育て支援を担う貴重な祖父母世代が家庭や地域での子育て支援者として活動できるよう学習機会の拡充を図っていく。</p> <p>1. 講座事業(551千円) 作成した祖父母手帳を活用し各個人が気軽に参加できる指定会場での講座を行うことにより、祖父母世代、親世代がより参加しやすい、実践的・体験的な方法により啓発を行う。講座は、個人での受講者に対応するため東部・中部・西部毎に3箇所を実施。(参加者20人×9回)</p> <p>【委託料積算】</p> <p>(1)講師報酬 360千円 ・会場指定講座:10,000円×4名(助産師会1グループ)×9回 (単価は昨年度実績に基づく)</p> <p>(2)講師旅費 90千円 ・会場指定講座:1,000円×4名(助産師会1グループ)×9回 ・企画会議等:1,000円×9名×2回 ・打合せ:1,000円×4名(助産師会1グループ)×9回 (単価は昨年度実績に基づく)</p> <p>(3)需用費 62千円 ・用紙、封筒、インク代、教材材料費</p> <p>(4)使用料 9千円 ・会場費:1,000円×9回(地域の公民館、公共施設等を想定)</p> <p>(5)役務費 30千円 ・電話代、ファクシミリ代、切手代等</p>

【メールマガジンによる情報発信】

各講座申込日の以前の直近の配信日に登録者へ配信を行う。

メールマガジン登録数: 約11,000アドレス

2. 祖父母手帳の増刷(465千円)

令和元年度に作成した祖父母手帳の記載情報の更新を行う。

《配布方法》市町村の窓口で母子健康手帳の配布と併せて交付と講座での配布

5000部 × @84.5円 × 1.1

《追加項目等》

支援施設等の情報の更新

【次年度以降に向けた事業の方向性】

アンケートでは沐浴等の体験ができて良かったとの声があることから、事業者と相談しながら座学だけでなく実践的な内容の充実化を検討していく。

【事業実施に当たっての留意点】

本事業の実施に当たっては、実施要領記載の留意事項を踏まえて実施することとする。

	KPI項目	単位	目標値
<p>・個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)3</p>	【アウトプット】講座参加者数	人	180
	【アウトプット】目標講座参加者数達成率	%	75
	【アウトプット】祖父母手帳配布部数	部	5000
	【アウトプット】メルマガ配信1回あたりの送信者数	人	11000
	【アウトカム】積極的に育児・地域の子育て支援に参画したいと思った参加者	%	80
	【アウトカム】友人等に講座を進めたいと思った参加者	%	80
	【アウトカム】祖父母手帳を今後の孫育てに活用したいと思った受講者	%	80
	【アウトカム】祖父母手帳を今後の孫育てに活用したいと思った配布者	%	80
	【アウトカム】講座の受講者のうち、講座開催情報をメルマガで知った受講者	%	65
<p>個別事業の内容</p>	<p>・市町村との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)4</p> <p>本個別事業においては、以下のとおり、市町村と連携・役割分担を行う。 ・母子健康手帳配布時に三世同居の世帯又は三世同居を考えている世帯に対し、祖父母手帳を配布する。 ・講座の周知 ・講座の受講者を、ファミリー・サポート・センター、放課後児童クラブ、市町村主催のイベント における託児など幅広い地域での活躍</p>		
	<p>・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)5</p> <p>子育てに係る専門的な知識を有する助産師会を講座を委託することによる正しい知識の普及と助産師会が実施している子育て相談に繋げることによる子育てへの不安を解消する。</p>		
	<p>・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項 ※(注)6</p> <p>※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 (関係部局等) 鳥取県女性活躍推進課、人権・同和対策課 (配慮すること) 事業実施にあたり、特定の価値観の押しつけにならないよう複数の目、ジェンダー的視点でチェック実施内容を確認する。</p>		
	<p>・委託契約の有無及び契約方式 ※(注)7</p> <p>※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 有 (以下の①～③から該当するものを選択してください) <input type="checkbox"/> 無</p> <p><input type="checkbox"/> ①企画提案方式(プロポーザル方式、コンペ方式) <input type="checkbox"/> ②競争入札方式</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ③随意契約</p> <p>(事業の内容) 講座の実施</p> <p>(随契約の理由) 妊娠出産等について専門的知識を有し、同様の講座の実施実績があり子育ての手法等の講座の 実施について精通しているのは(一社)鳥取県助産師会だけであるため。</p>		
<p>・システム等導入に係る管財部局の確認 ※(注)8</p>	<p>※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。</p> <p>該当する取組の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p> <p>取組名: _____</p> <p>有の場合の担当部局: _____</p>		